

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

年末年始の

火災・救急事故を防ごう

楽しい年末年始を迎えるために、この時期に発生しやすい火災や救急事故の注意点を知り、未然に防止するための対策を立てておきましょう。

火災

- 放火による火災を防ごう
- 電気火災を防ごう
- 暖房機器からの火災を防ごう
- たばこやてんぷら油からの火災を防ごう

《住宅防火 いのちを守る7つのポイント》

3つの習慣

- 1 寝たばこは絶対にしない。
- 2 ストープは燃えやすいものから離れた位置で使う。
- 3 ガスコンロのそばを離れるときは、火を消す。

4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器をつける。
- 2 火元から寝具や衣類への燃え移りを防ぐため、防災製品を使う。
- 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 4 お年寄りや身体が不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器は ありますか

平成28年中の住宅火災の件数は総出火件数の3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めます。逃げ遅れを防ぐため、必ず設置しましょう。



救急

- 飲酒による事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 自分の適量を知り、その日の体調にも注意する。
- 2 一気飲みは絶対にしない。
- 3 飲酒の無理強いはいらない。

- 入浴中の事故をなくそう

《予防のポイント》

- 1 脱衣場や浴室の室温が低くならないようにして、湯温は39～41℃くらいにする。
- 2 食事直後や深夜は入浴しない。
- 3 心臓や肺の慢性疾患や高血圧症を持つ人は、半身浴が望ましい。
- 4 心疾患がある人や高齢者が一人で入浴する場合は、周りの人がときどき声を掛けて様子を見るようにする。

- 餅や食べ物による窒息をなくそう

《予防のポイント》

- 1 餅や肉などは、小さく切って食べやすい大きさにする。
- 2 急いで飲み込もうとしないで、ゆっくりかんで食べる。
- 3 高齢者は、家族と一緒に食事をするなど、周りの目が届くようにする。

見守り

